

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春の門出をお祝いたしますと共に、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、大村智名誉市民のノーベル賞受賞から一年が経過する中、葦崎大村美術館をはじめ、多くの皆様からの浄財によりまして銅像が建立された「幸福の小径」など、これまでにない多くの人出にわいた一年間でもありました。

そしてこの平成29年の幕開け。日本全国で人口が減少してしまう現代こそ、いかに自分たちのまちを磨き、魅力的にしていけるかが重要な課題となっております。大村記念図書館や子育て支援センター「にら★ちび」、青少年育成プラザ「Miacis (ミアキス)」などで人気の葦崎市民交流センター「ニコリ」は、昨年開館5周年を迎え、累計で延べ200万人を超える皆様にご利用いただくなど、今や本市におけるまちづくりの象徴にまで成長いたしました。この「ニコリ」を中心としながら、本市の潜在能力を最大限発揮するための人「財」の育成に努めてまいります。

葦崎市は今、チーム葦崎の英知と汗を郷土愛の結晶に高めながら、「葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本理念となっている働く世代とその子どもたちが輝くまちづくりに挑戦しています。本年1年間どうぞよろしく申し上げます。そして一緒に頑張りましょう。



葦崎市長
内藤 久夫



葦崎市議会議長
西野 賢一

明けましておめでとうございます。

平成29年の年頭に当たり、葦崎市議会を代表しまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、清々しい初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、全国の地方自治体の財政状況は依然として厳しい中ではありますが、それぞれにおいてまちづくり施策を展開しています。

私たちの葦崎市では、市民の皆様をはじめ、事業者の方々など、本市に関わりもつ皆様から市政の発展を期する貴重なご意見を賜り、足元をしっかりと固めながら、同時に将来を見据えた「葦崎まちづくり」への取り組みが各般にわたり積極果敢に押し進められています。

私たち議員は、市民の皆様の代表として議会の果たすべき役割と責任を深く認識し、皆様の声を市政に届ける活動を今後も行っていきますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。